

この研修案内は基幹研修Ⅰの修了・未修了にかかわらずお送りしております。すでに修了されている方におかれましては、ぜひ周囲の未修了の方に宣伝くださいますようお願いいたします。

第17回 基幹研修Ⅰ in 東京

～ソーシャルワーカーとしてあり続けるために～

【日時】 2024年10月5日（土）

【会場】 昭和女子大学

【開催方法】 集合対面研修

主催 一般社団法人 東京精神保健福祉士協会 <https://www.tokyo-psw.com/>
（公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 委託事業）

【基幹研修Ⅰとは？】

日本精神保健福祉士協会は、専門職団体として、精神保健福祉士の職務に関する知識・技術ならびに倫理・資質の向上を図ることを目的として2008年に生涯研修制度を創設しました（この制度の概要は日本精神保健福祉士協会のHP等でご確認ください）。このうち基幹研修Ⅰ（本研修）はおおむね入会から3年未満の構成員を対象としており、東京精神保健福祉士協会が事業を受託しております。

第17回研修を下記要綱で開催いたします。「基幹研修Ⅰ」受講対象の皆さま、どうぞご参加ください。

【日程・プログラム】 <10月5日（土）>

9:30～9:50 受付

9:50～10:00 開講式 挨拶・オリエンテーション

10:00～11:30 講義Ⅰ 「公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題」

講師 松永実千代 氏（社会福祉法人 特別区社会福祉事業団）

11:30～11:45 休憩（15分）

11:45～13:15 講義Ⅱ 「精神保健福祉士の専門性Ⅰ」

講師 三木良子 氏（帝京科学大学）

13:15～14:15 昼食休憩（60分）

14:15～15:45 講義Ⅲ 「精神保健福祉士の実践論Ⅰ」

講師 山本和弘 氏（昭和大学横浜市北部病院）

15:45～16:00 休憩（15分）

16:00～17:30 演習Ⅰ 「グループワーク」

17:30～17:45 閉講式（修了証書授与）

◆◆ 定 員 ◆◆ 50名 (先着順です。定員になり次第、締め切ります。)

◆◆ 研修費用 ◆◆

参加費 5,500円

テキスト費 2,500円

計 8,000円

第1版(旧テキスト)をお持ちで、
且つ日本精神保健福祉士協会構
成員の方は割引価格1,500円

※ 当日のテキストとなる「生涯研修制度共通テキスト」は、全1冊・B5サイズの第2版(2013年度発行:白地に青色の表紙)または改訂第2版(2021年度発行:白地に緑色の表紙)となります。ご受講の方は必ずご購入いただきます。旧テキスト(第1版)をお持ちの方も買い替えが必要です。同封のテキスト購入に関する注意事項を御参照ください。

※ 研修費用の指定入金口座は受講決定通知書送付時にお知らせいたします。

※ 原則として参加費の返金はいたしません。やむを得ない事由で、当日欠席された場合は研修後に資料をお送りいたします。

◆◆ 対 象 ◆◆

1. 東京精神保健福祉士協会 会員
2. 公益社団法人日本精神保健福祉士協会東京都支部構成員

※ 日本協会構成員は、ご所属の都道府県支部が属するブロック内での受講が原則です。

※ 日本精神保健福祉士協会非構成員の方で2026年2月末までに入会手続きを済ませた方は、本研修修了が生涯研修制度の研修履歴として認められます。日本精神保健福祉士協会入会申込書と合わせて、修了証書のコピーをお送りください。

◆◆ 申込み方法 ◆◆

申込みにあたり、次ページの連絡事項、同封の「基幹研修Iシラバス」を必ずお読みいただき、研修の趣旨をご理解の上、お申込みくださいますようお願いいたします。

1. 方法

右下の二次元バーコードもしくは、下のURLにアクセスして申込みを行ってください。

※「メールアドレス」の入力においては、携帯電話のキャリアメール(～@docomo.ne.jp、～@ezweb.ne.jpなど)はご使用にならないでください。

基幹研修I申込みフォーム <https://ws.formzu.net/dist/S39308101/>

※申込みフォームにアクセスしたら項目に入力後、一番下の

「内容確認画面へ」を押してください。

その後、内容確認画面にて確認し、「自分にも送信内容のコピーメールを送る」にチェックを入れて、「送信する」を押して完了してください。



2. 申し込み締切 8/13(火)

(先着順です。定員になり次第、申込みフォームの稼働は停止します。)

◇◆ 申し込み後の流れ ◇◆

1. 東京精神保健福祉士協会より 9/2 の週に申込者へ受講決定通知書を発送。
※9/7(土)までに受講決定通知書が届かない場合は、申し込み手続き上で何らかのトラブルが発生している恐れがあります。当日受講ができませんので、必ず下記のメールアドレスにお問い合わせください。
2. 9/13(金)までに申込者が指定口座へ研修費用を入金（入金をもって受講確定とします）。
3. 申込者が受講決定通知書を持参のうえ、10/5（土）研修参加。

◇◆ 問い合わせ方法 ◇◆

メールで対応させていただきます。原則としてパソコンメールをご使用ください（携帯電話のキャリアメールはこちらからの送信が拒否されるケースが多く見られるため、ご使用にならないでください。）

基幹研修 I お問い合わせ メールアドレス : kensyu@tokyo-psw.com

◇◆ 連絡事項（必ずご確認ください） ◇◆

1. 変更・取り消しなどのご連絡、その他のお問合わせは全てメール（アドレス）のみでお受けいたします。
2. 研修時に参加者名簿（演習の班分け）を配布します。本名簿には参加者全員のお名前を掲載させていただきますが、所属先については掲載しません。
3. 宿泊のご用意はしておりませんので、ご希望の方はご自身で手配してください。
4. 災害保険などは各自でご加入ください。

<研修の修了要件について>

基幹研修 I の定める各科目について、15 分以上の遅刻・早退・欠席があった場合は、修了したことにならず、修了証は発行できませんのでご注意ください。余裕をもってご来場ください。

<新型コロナウイルス感染症対策について>

新型コロナウイルスの 5 類感染症移行に伴い、マスク着用は個人の判断が基本となります。なお、感染状況によってはマスク着用をお願いする場合があります。その場合は受講決定通知書送付時にご案内致しますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。

◆◆ 会場アクセス◆◆

昭和女子大学（〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7-57）

※研修が開催される建物、教室については受講決定通知にてお知らせいたします。

※本研修について昭和女子大学にお問い合わせされませんよう、お願いいたします。

アクセス方法

地下鉄 東急田園都市線（半蔵門線直通）「三軒茶屋」駅下車 徒歩7分

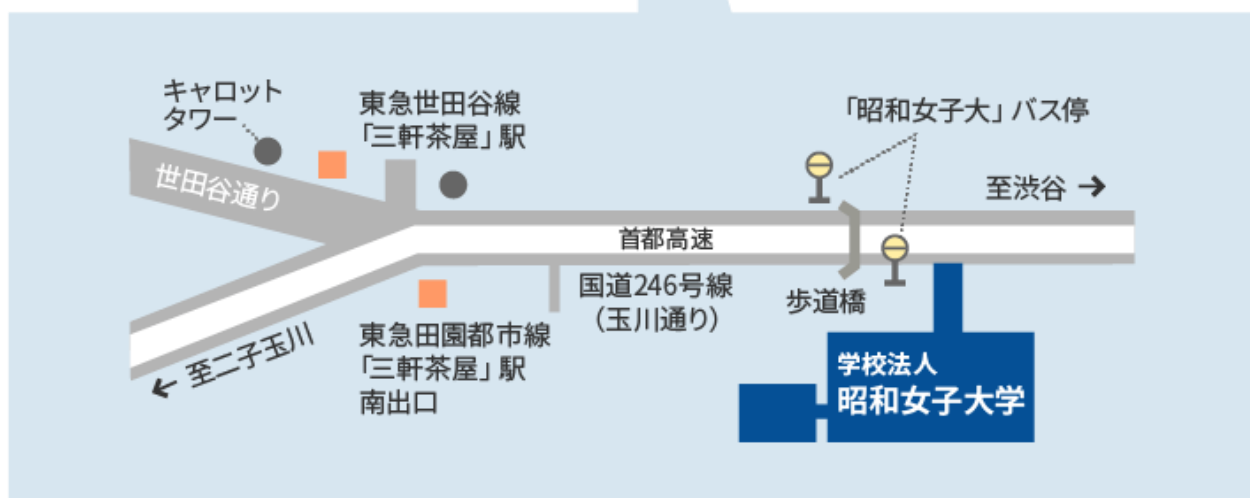
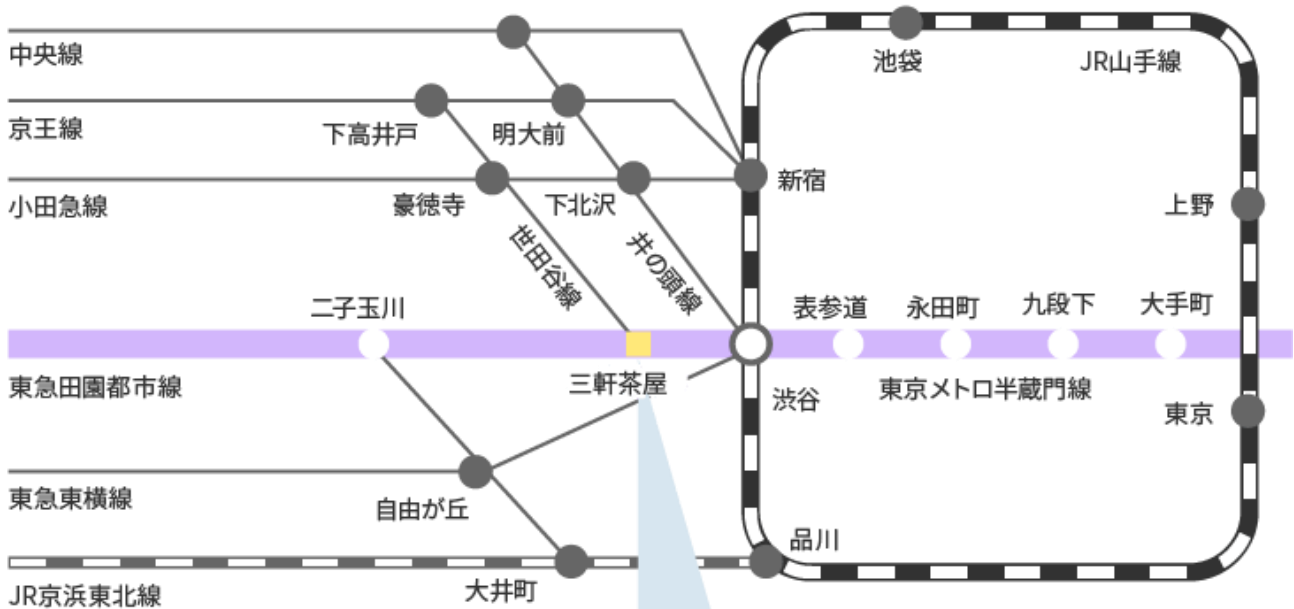
●渋谷駅から下記方面行きを利用し、「昭和女子大」下車

（上町・等々力・田園調布・弦巻営業所・二子玉川・高津営業所・成城学園・祖師谷大蔵・
粕江・調布）

バス

●目黒駅・祐天寺駅から三軒茶屋行きを利用し、「三軒茶屋」下車

●下北沢駅から駒沢陸橋行きを利用し、「三軒茶屋」下車



テキスト購入に関する注意事項

基幹研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、公益社団法人日本精神保健福祉士協会発行の「生涯研修制度共通テキスト」を使用することが定められており、受講する方は購入が必須となっております。テキストは2013年度に第2版が発行され、2021年度には改訂第2版が発行されております。基幹研修を受講される皆様には第2版（全1冊・B5サイズ白地に青色の表紙：下図中央）、もしくは改訂第2版（全1冊・B5サイズ白地に緑色の表紙：下図右側）のご準備をお願いしております。テキストについては日本精神保健福祉士協会から個人毎に購入いただくこととなります。

過去に第1版（全3巻、A4サイズピンク色の表紙：下図左側）をご購入の方で、第2版・改訂第2版をどちらも未購入の場合、改訂第2版を購入していただくこととなります。その際は、改訂第2版（定価2,500円）を割引価格1,500円で販売いたします。改訂第2版を割引価格で販売するのは、日本精神保健福祉士協会の構成員であることが条件となっております（構成員でない方は定価での販売です）。

以上をご確認のうえ、基幹研修Ⅰ申込フォームのテキスト所持の記載欄の該当箇所チェックを入れてお申込みください。テキストは、研修資料と共に当日お渡しします。

×第1版



○第2版



○改訂第2版



基幹研修Ⅰ シラバス

(公益社団法人日本精神保健福祉士協会・生涯研修制度 基幹研修シラバス (第2版) より一部抜粋)

<獲得目標>

本協会構成員の基本的な知識として、「本協会の歴史と役割」について、我が国における精神科医療・保健福祉の歴史的課題を背景にした国家資格制定にかかわる経緯と専門職団体の使命を踏まえ、現状と課題を理解する。

精神保健福祉士の活動領域と実践の実際を学び、専門職としての主体性を考える機会とするとともに、精神保健福祉士の基本的な「社会的責務」について理解する。

また精神保健福祉士の価値と倫理について再確認し、自らの専門性について深める機会とする。

総じて、所属機関における専門性の発揮に必要な基盤を獲得することを目指す。

<講義1> テーマ：公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題

【目的】

本協会の歴史を学ぶ必要性について理解するとともに、精神保健福祉士として専門職団体に所属する意義について理解を深める。

公益社団法人日本精神保健福祉士協会の歴史を振り返り、国家資格化の経緯を理解するとともに、「Y問題」から構築した精神保健福祉士の価値を理解する。

協会活動を理解し、本協会の役割と今後の課題について理解する。

<講義2> テーマ：精神保健福祉士の専門性Ⅰ

【目的】

精神保健福祉士としての自らの実践が、精神保健福祉士の価値と倫理に基づくものでなければならないことを理解する。

精神保健福祉士としての立脚点を確認するため、医学モデルと異なる視点である生活モデルについて、特にICF（国際生活機能分類）を踏まえて理解する。

精神保健福祉士としての専門性に基づくかわりについて、自己決定の尊重、権利擁護の視点、人と状況との全体関連性と生活者支援の視点から理解する。

本協会の倫理綱領制定の経緯を講義1とも関連させて理解する。

専門職としての研鑽の必要性を再確認し、スーパービジョンの活用方法を理解する。

<講義3> テーマ：精神保健福祉士の実践論Ⅰ

【目的】

精神保健福祉士として求められる基本的な日常業務と役割を理解する。

クライアント（利用者）とのコミュニケーション、ニーズの重要性を再認識し、ソーシャルワークの基本原則に基づいた実践の在り方を理解する。

多様化する活動領域と各領域での実践展開と特殊性を理解するとともに、ソーシャルワーク実践の共通基盤を習得する。

<演習 I >

【目的】

グループ討議を通して

- ・互いに知り合い、支え合う雰囲気づくりを醸成する。
- ・自らの精神保健福祉士としてのあり方や自分の職場を客観視する。
- ・自己の感情や考察を言語化し、自己理解を深めて自らの実践課題を知る。

※詳細なシラバスは公益社団法人日本精神保健福祉士協会ホームページに掲載されております。

<https://www.jamhsw.or.jp/ugoki/kensyu/document/Syllabus-1.pdf>

